

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立大垣北高等学校		
実 施 期 間	平成25年10月30日(水)～11月6日(水)		
実 施 概 要	・①授業公開(午後の授業公開4日間。午前2時間の授業公開1日間) ・②人権講話、芸術鑑賞の公開 ・③高山フィールドワーク(1年)研修についての展示発表 ※上記期間外に、学校周辺清掃(各学年1回、6/、10/、12/12)を実施		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	88人	計 88人
	地域関係者	0人	
実 施 状 況	<p>①10月30日(水)「ひびきあいの日」に人権講話として「地球のステージ6」を鑑賞した。今回は「久遠の帰還」として、ルワンダや東ティモールやガーナでの活動を音楽・映像も用いながら語っていただいた。桑山氏は宮城県在住であり、東日本大震災後の復興を伝える自主制作映画の一部を予告編として見せていただいた。生徒・保護者・職員ともに「日本の、そして世界の今後」について深く考えることができた。</p> <p>②11月6日(水)には芸術鑑賞として「地雷探知犬ニーナ」を鑑賞した。地雷について分かりやすくコミカルな手法も用いて解説していただけて知識を深めることができた。「地雷が無ければ自由」であることを見ている側に痛感させた。</p> <p>③1年生が6月に行った飛騨・高山フィールドワークで制作した川柳に写真を添えて展示した。展示した川柳を来校者に鑑賞していただいた。</p>		  
成果及び課題	<p>人権講話を通して、生徒は自分が現在置かれている恵まれた環境とそうではない厳しい地域が世界に、そしてこの日本にも存在するのだということを実感することができた。桑山氏の講演はこれで6年連続であるが、学年が進むにつれて、自分が置かれている立場に感謝し、周囲のことについてより深い知見が得られるようになっていく。</p> <p>芸術鑑賞では、全校生徒が笑いあり涙ありの演劇を通して地雷について深く考える契機となった。</p> <p>今回の「岐阜県ふるさと教育週間」では、多くの保護者に来校していただいたが、地域の方の来校がなく、残念な結果となった。期間中のみならず、普段からの繋がりをいかに発展させていくかが課題である。</p>		

